

平成14年度決算報告

市が使ったお金です

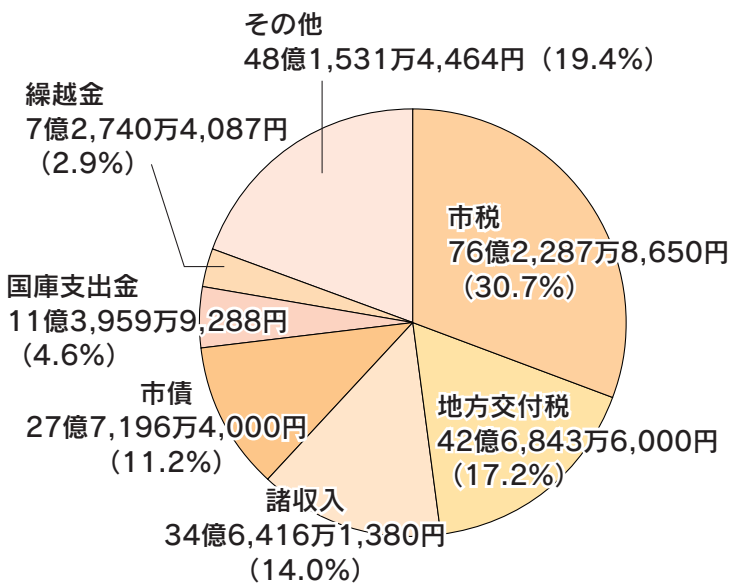
平成14年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が、第5回市議会定例会で認定されました。

平成14年度には、「活力の創出」の実現に向け、引き続き「人口増対策」に重点を置いた予算を執行しました。

これからのまちづくりのため、市がどのようにお金を使ったのかをお知らせします。

● 一般会計歳入の内訳

() は構成比



歳入 248億975万7,869円

歳入

歳入決算額(市へ入ったお金の合計)は、248億975万7869円で、前年に比べ6億5082万2517円、2.7%の増となりました。

一般会計は、実質収支(事業などの進み具合によって、次の年へ予算を持ち越す繰越金を差し引いた額)で6億5037万円の赤字となりました。これは、厳しい経済情勢の中で事業の選択、経費の節減などに市民のみなさんのご理解ご協力をいただいた結果だといえます。

一般会計

◆ 市税

歳入のトップを占める市税は、最も重要な財源です。市税には個人・法人市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税、都市計画税があります。平成14年度は、個人市民税、法人市民税の減少が大きく、前年度に比べ3億6248万1804円、4.5%の減となりました。一世帯当たりの個人市民税負担額は、13万57円でした。(平成15年4月1日現在の20028世帯で決算額を割って計算)



イルフスクエア整備事業として、(株)おかや東急百貨店の所有部分を取得し、平成14年6月の商業活性化センターのオープンに引き続き、生涯学習活動センターとして施設整備を行い、平成15年3月21日に全館オープンしました。

◆ 地方交付税

市税に次いで構成比の多い地方交付税は、国から交付されるお金で、使い道が制限されていません。額は、その自治体の財政力によって決められます。

前年度に比べ2億1392万6000円の減となりました。

◆ 国庫支出金

土地区画整理事業などの特定の事業に対して、国から補助されるお金です。前年度に比べ、1億3079万7040円の減となりました。

◆ 市債

建設事業などで多額の財源を必

要とするとき、一定のルールのもとに借り入れる重要な財源です。

道路や下水道などの施設、学校や福祉施設などの建物は長い期間の利用ができますが、今、利用する人ばかりでなく、将来使う人々へも負担を求めることで、世代間の負担の公平化が図られるというのが、市債の基本的な考え方です。

平成14年度の市債は、イルフスクエア整備事業、道路整備事業等を行い、総額では前年度に比べ8億9806万円の増となりました。

なお、歳出における公債費は、各年の市債を年次計画に従って返している額のことで、

今までに市が借入れた額の累計となる平成14年度末の市債残高は、253億2564万円となります。

ただし、この内の約52%は、地方交付税として財源が補てんされる有利な借り入れで、他にも国の支出金などで補てんされているものなど、これからの負担が苦しくならないように努めています。

歳出

歳出決算額(市が使ったお金の合計)は、241億3887万1966円で、前年度に比べ7億734万701円、3.0%の増となりました。市民一人当たりで使われた平均額は、43万2876円となりました。主な施策事業は次ページのとおりで

～岡谷市の財政状況は？～

■ 経常収支比率 79.9% (県下17市10位)

市税や地方交付税などの一般財源に占める、人件費、公債費などの経常的経費の割合を示すものであり、財政構造の弾力性を判断する指標です。

13年度…75.4% 12年度…74.7%

■ 財政力指数 0.655 (県下17市7位)

財政力の強弱を示すもので、一般財源必要額に対して市税等の一般財源収入額がどの程度確保されているかを図ります。1に近くあるいは超えるほど財源に余裕があるものとされ、国から地方交付税が交付されません。

13年度…0.639 12年度…0.632

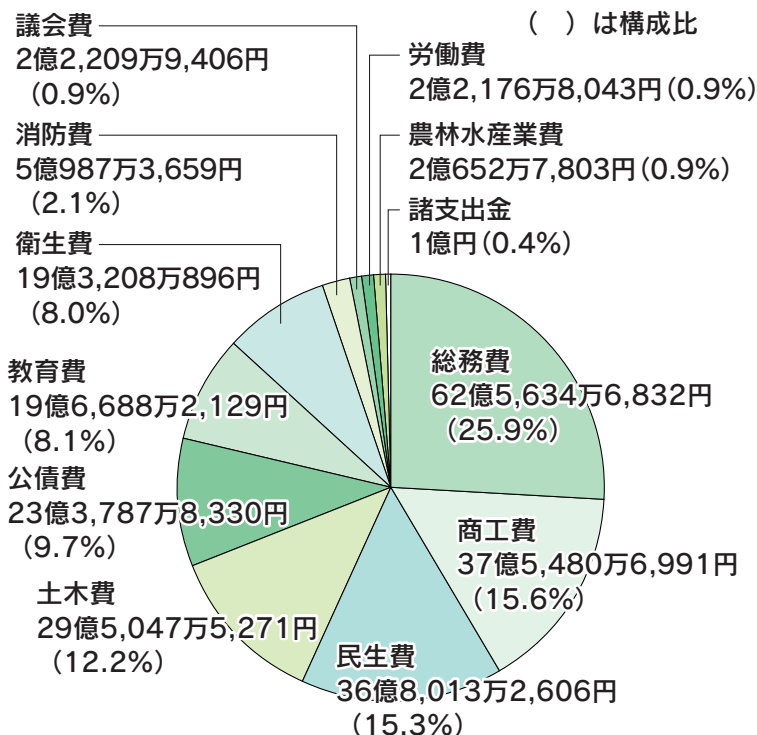
■ 起債制限比率 8.0% (県下17市6位)

公債費負担を示す指標で、地方交付税による財源措置を除いた一般財源に占める地方債償還額の割合を示すものです。20%を超えると地方債が制限されます。

13年度…8.4% 12年度…8.4%

● 一般会計歳出の内訳

() は構成比



歳出 241億3,887万1,966円

平成14年度 主な施策事業

(金額は1万円未満四捨五入)

【総務費】	
◇イルフスクエア整備事業	18億5,352万円
◇諏訪湖ハイツ整備事業	9,816万円
◇地域情報化推進事業	6,388万円
【商工費】	
◇シルキーバス運行事業	2,177万円
◇中小企業金融対策事業	27億6,591万円
◇テクノプラザおかや事業	1,322万円
【民生費】	
◇3歳以上の第3子以降保育料無料化事業	5,095万円
◇介護老人福祉施設整備補助事業	9,198万円
◇新あやめ保育園建設事業	1,155万円
【土木費】	
◇道路新設改良事業	7億3,032万円
◇岡谷駅南土地区画整理事業	1億5,334万円
◇都市計画道路整備事業	1億7,842万円
【教育費】	
◇小中学校校舎整備事業	1億8,890万円
◇私立幼稚園就園助成事業	1,520万円
◇市営岡谷球場整備事業	7,767万円
【衛生費】	
◇高齢者インフルエンザ予防接種事業	1,329万円
◇不妊治療助成事業	265万円
【消防費】	
◇消防施設整備事業	3,245万円
◇消防車両導入事業	3,761万円
【農林水産業費】	
◇農道水路・林道整備事業	2,455万円



人口増対策として、3歳以上の第3子以降保育料無料化事業や延長保育などの保育の充実を図りました。



都市計画道路東町線整備事業として、国道20号バイパス～市道長地209号線の第1期事業区間400mを整備しました。国道20号バイパスと同時に供用開始します。



消防車両導入事業として、ポンプ車を1台更新し、新規に災害対応支援車1台を導入しました。







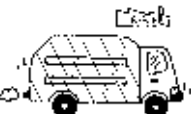





主な基金の種類と積立金

名 称	金 額
財政調整基金	11億6,376万0,061円
社会福祉施設整備基金	8,692万9,063円
市営住宅整備基金	3億8,506万4,605円
工業技術振興基金	2億4,972万9,081円
ふるさとまちづくり基金	28億4,743万2,711円
減債基金	11億3,566万3,438円
文化会館事業基金	4億3,639万2,722円
地域福祉基金	3億7,877万3,849円
教員住宅整備基金	1億3,211万8,560円

◆基金
市が大きな事業を行うときは、単年度にばく大な資金が必要となります。しかし、市の予算の中で、市民生活を守るための経費を削つてまで、その事業に多額の投資をすることはできません。市民生活に影響を及ぼさないように大きな事業を行うための蓄えが基金です。基金は、市が将来を展望した個性あるまちづくりを進めるために、計画的に積み立てられています。基金の設置は、市の条例により定められており、その目的以外に使うことはできません。現在、岡谷市には15種類の基金があり、平成14年度決算では、総額71億2,556万6千円余りが積み立てられています。

市民一人当りに使われたお金 (一般会計歳出) **43万2,876円**

参考：市税一人当たり13万6,699円

総務費 11万2,193円	商工費 6万7,334円	民生費 6万5,995円	土木費 5万2,910円	公債費 4万1,925円	教育費 3万5,272円
					
衛生費 3万4,647円	消防費 9,143円	議会費 3,983円	労働費 3,977円	農林水産業費 3,704円	諸支出金 1,793円
					

特別会計

H15.4.1現在

人口	55,764人
世帯数	20,028世帯

会計名	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	35億1,728万1,815円	33億4,291万6,500円
地域開発事業	8億4,686万6,573円	14億6,952万7,668円
公団分収造林事業	2,645万6,669円	2,577万9,952円
交通災害共済事業	4,930万6,618円	877万8,813円
霊園事業	2,195万9,057円	1,312万7,408円
老人保健事業	52億3,118万2,891円	52億5,187万0,405円
温泉事業	3,058万8,554円	915万5,208円
訪問看護事業	7,514万0,948円	3,501万2,443円
駐車場事業	5億7,189万6,296円	5億7,189万6,296円
介護保険事業	23億0,775万3,592円	20億8,906万3,006円

特別会計とは…

特定の事業を行う場合または特定の収入で事業を行う場合に、経理を他の会計と区別する必要があるため、法律や条例に基づいて設置しているものです。

企業会計とは…

特別会計のうち原則市税を収入財源とせず、独立採算制を迫及する極めて企业的色彩の強い事業を行う場合に、地方公営企業法の規定を受けて設置する会計です。一般会計やその他の特別会計とは異なり、民間企業と同様の経理を行うものです。

企業会計 (収益的収入および支出)

会計名	収入額	支出額
岡谷病院事業	43億1,238万8,525円	42億4,351万0,799円
塩嶺病院事業	39億1,805万3,152円	38億6,783万2,309円
水道事業	10億2,132万8,162円	9億3,373万8,608円
下水道事業	20億5,776万9,146円	19億2,217万81,511円